

【氏 名】森 悟朗(モリゴロウ)

【職 名】准教授(国文学科)

【学 位】修士(宗教学)

【本学就任】平成 25(2013)年 4 月 1 日

【略 歴】慶應義塾大学文学部人間関係学科社会学専攻卒業(平成 9.3)

國學院大學大学院文学研究科博士課程前期神道学専攻修了(平成 15.3)

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期神道学専攻単位取得退学(平成 18.3)

國學院大學研究開発推進センター助手(平成 18.4～19.3)

國學院大學研究開発推進機構助教(平成 19.4～25.3)

國學院大學研究開発推進機構共同研究員(平成 25.4～現在)

【専門分野】宗教民俗学、宗教社会学、日本近現代宗教史研究

【担当科目】国学Ⅰ・Ⅱ、日本史概論B、日本の伝統文化(日本の伝統と文化)、神道学・宗教学演習A・B、

国文基礎演習、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ

【所属学会】日本宗教学会、北海道史研究協議会

【研究テーマ】近現代日本の民俗宗教の宗教民俗学的・宗教社会学的研究。特に近年は神社・寺院に関わる民俗宗教と観光との歴史的・社会的関係の研究や、北海道の神社の研究など

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	神田より子編著『鳥海山麓遊佐の民俗』(第5章第 3 節「藤崎の年中行事―植林の記憶をめぐって―」執筆)	遊佐町教育委員会	平成18年3月
著 書	共 著	森悟朗・新井大祐・大東敬明『言説・儀礼・参詣―〈場〉と〈いとなみ〉の神道研究―』(第 3 部「参詣篇―神社と参詣・観光―」執筆)	弘文堂	平成21年3月
著 書	共 著	山中弘編著『宗教とツーリズム―聖なるものの変容と持続―』(第 2 章「「湘南」の誕生と江の島の変容」執筆)	世界思想社	平成24年7月
著 書	共 著	長谷部八朗編著『「講」研究の可能性』(「神風講社と浪花講・三都講・一新講社」執筆)	慶友社	平成25年5月
研究ノート	単 著	「北海道の切株・棒杭神社についての覚書―『北海道神社庁誌』を中心に―」	『滝川国文』34号	平成30年3月

【最近の社会的活動】

滝川市文化財保護審議会委員(平 29.4～現在)

北海道新聞社ぶんぶんクラブ教養講座講師(平成 26.11～28.9)

一般財団法人滝川生涯学習振興会市民講座「リブラーン」講師(平 25.9～現在)

國學院大學北海道短期大学部公開市民講座「オープンカレッジ」講師(平 25.7～現在)

「いしかり市民カレッジ」講師(令 5)

北海道神社庁中堅神職講習会講師(平 25.6～現在)